

審査にご協力いただいた専門家の皆さま

審査には、地域づくりに関するノウハウ・知見を有する専門家の皆さまや、公益財団法人東北活性化研究センターにご協力をいただきました。

○^{ささき}佐々木^{ひでゆき}秀之 氏（宮城大学 事業構想学群 准教授、研究推進・地域未来共創センター副センター長）



東北学院大学大学院修了。博士（経済学）。

社会起業家育成、協働のまちづくりの推進、ソーシャルビジネスモデルの形成など、多様なテーマに対して理論と実践の両面から取り組む。2019年及び2022年に研究室で関わったコミュニティ・プレイス建設においてグッドデザイン賞を受賞。

「地域開発と駅裏」、「復興から学ぶ市民参加型のまちづくり」シリーズ等、著書多数。

【主な公職】

みやぎ観光振興会議 仙南圏域会議会長、富谷市協働のまちづくり推進審議会会長、利府町総合計画審議会会長

○^{いとう}伊藤^{さとこ}聡子 氏（フリーキャスター・事業創造大学院大学 客員教授）



東京女子大学文理学部卒業。事業創造大学院大学修了。

大学在学中にキャスターとして活動を開始し、多くの情報・報道番組に出演。

2002年、NYフォードム大学留学。帰国後、JICA(国際協力機構)を通じて途上国を視察するなど、国際貢献への関心を高く持ち、取材活動を行う。また、日本の地域においても格差や地域課題の解決にはビジネスの視点が不可欠と捉え、事業創造大学院大学にてMBA（経営管理修士）を取得。2010年、同大学客員教授に就任。

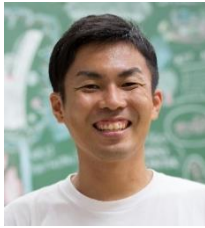
現在は「ひるおび!」（TBS）や「ミヤネ屋」（読売テレビ）等の報道情報番組でコメンテーターを務める一方、地方創生や企業経営などをテーマとした取材活動や講演会への出演等幅広く活動している。

【主な公職】

内閣府地方創生有識者懇談会委員、経済産業省中小企業政策審議会委員、経済産業省構造審議会地球環境小委員会委員

○^{うしだ}丑田 ^{しゅんすけ}俊輔

氏（ハバタク株式会社 代表取締役・シェアビレッジ株式会社
代表取締役・プラットフォームサービス株式会社 代表取締役）



慶應義塾大学商学部卒業。東京都千代田区の公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクウェア」の設立への参画や、日本IBMでの勤務を経て、2010年にハバタク（株）を創業。新しい学びのクリエイティブ集団として、国内外を舞台に様々な教育事業を展開。

2014年より秋田県五城目町在住。田舎発起業家を育む「ドチャベン」、遊休不動産を遊び場化する「ただのあそび場」、住民参加型の小学校建設「越える学校」、住民出資による温泉再生「湯の越温泉」、茅葺古民家を舞台にした村づくり「シェアビレッジ町村」等を手掛ける。2023年、半径30km 圏内の森林資源とデジタルファブリケーションを活かした小さな集落「森山ビレッジ」が竣工した。

グッドデザイン賞ベスト 100&特別賞「地域づくりデザイン賞」、Forbes JAPAN「世界を救う希望 100 人」選出。

○^{せいの}青野 ^{ひろふみ}浩文

氏（公益財団法人東北活性化研究センター 専務理事）



早稲田大学商学部卒業。1986年東北電力（株）入社。同社発電・販売カンパニー生活提案部長、東北電力ネットワーク（株）執行役員福島支社長などを歴任。

2022年より、東北6県と新潟県における総合的な地域整備や地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクトの発掘・支援等に関する事業を通じ、東北と新潟の活力向上と持続的な発展に取り組む、（公財）東北活性化研究センターの専務理事を務める。

以 上